

2021年6月号

NO. 330

## TOPICS

新たなスタートに向けて

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事長 畔柳 一典 MESSAGE P4

「第10回通常総会」開催報告

**ATTENTION P5** 

『2021 PR Yearbook』発刊

ATTENTION P6

PRプランナー資格認定制度/検定試験 第 30 回1次試験 6 月 1 日から受付中

ATTENTION P7

#### 公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー 5F 電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL https://www.prsj.or.jp/

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F 電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 畔柳 一典

# 6月号目炎

6月~7月のスケジュール		 2
MESSAGE(メッセージ)	新たなスタートに向けて	 4
ATTENTION(お知らせ)	「第10回通常総会」開催報告	 5
//	『2021 PR Yearbook』発刊	 6
//	PRプランナー資格認定制度/検定試験 第30回1次試験6月1日から受付中	 7
BULLETIN (活動報告)	第36回広報ゼミ開催報告(会員限定)	 8
協会掲載記事	PRSJ in Media	 9

## 6月~7月スケジュール

【オンライン】広報·PR入門Web講座 2021 日 時 : 5月20日(水)~6月30日(水)予定

テーマ : 「イチ」から広報・PR の基本を学ぶ 新任者向け Web 講座

【オンライン】第 214 回定例研究会 日 時 : 7月2日(金)14:00~15:30

テーマ : 働く女性に寄り添う「OTEKOMACH」と「発言小町」がめざすもの

~読者を集める女性向け情報サイト - その魅力の原点を探る~

講師: 読売新聞社「OTEKOMACHI」「発言小町」編集長 小坂佳子氏

## 6月~7月の理事会・委員会・

## 部会スケジュール

会場: オンライン開催

(7月度) 日 時 : 7月 8日 (木) 16:00~17:30

会場 : 未定

**教育委員会 (6月度)** 日 時 : 6月 15日 (火) 14:00~15:30

会 場 : オンライン開催

**資格委員会 (6月度)** 日 時 : 6月 10日 (木) 12:00~14:00

: オンライン開催

**国際·交流委員会 (6月度)** 日 時 : 6月 9日 (水) 16:00~17:00

オンライン開催

**広報委員会 (6月度)** 日 時 6月 24日 (木) 16:00~17:00

: オンライン開催

**顕彰委員会 (6月度)** 日 時 : 6月 22日 (火) 15:00~16:00

: オンライン開催

**企業部会幹事会 (6 月度)** 日 時 : 6 月 2 日 (水) 17:00~18:00

: オンライン開催

**PR業部会幹事会 (6月度)** 日 時 : 6月 15日 (火) 16:00~17:30

: オンライン開催



## 新たなスタートに向けて

## 公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会 理事長 畔柳 一典

「新型コロナウイルス感染症」により影響を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

会員の皆さまには、日頃より協会活動にご尽力いただいておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、この6月3日に開催されました「第10回通常総会」が開始直前に配信機材トラブルが発生し、急遽ライブ配信を取り止めさせていただくこととなりました。オンライン視聴を予定されていた多くの正会員の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしました。心からお詫び申し上げます。

また、事前にご提出いただいた議決権行使書を含めて、総会成立に必要な定足数に達していたことから、会場にご出席いただいていた役員を含む19名の出席者とともに30分遅れで総会を開会させていただき、予定の議案にご承認をいただき総会は滞りなく終了いたしました。おかげさまで今年度の協会活動も本格的に始動します。私が引き続き理事長を務めさせていただき、

19名の理事の方々とともに、今年度の協会活動を進めてまいります。

また、第10回通常総会の場で、PRSJの新中期経営計画を発表させていただきました。今回の計画においては2021年度から2023年度の3年間の中期計画といたしました。

計画の立脚点となる PRSJ の「ミッション・ビジョン・バリュー」については、この中計の持続可能性をはかるために、 2023 年度を超えてさらに長期的な視点に立って立案しました。

この中計を一言で表現するならば、PRSJ が公益社団法人としてソーシャルイノベーションに 貢献するために、現在もそして近未来も、"人材育成"を通してパブリックリレーションズを進 化させ、その存在価値とそこに携わる人たちのプレゼンスを向上させることを趣旨としていま す。

今回、その進化の方向性と目標として、「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」という新たな人材像を設定しました。その基本姿勢と備えるべき能力は残念ながら現在の実情とは距離があるかもしれません。しかしながら、ギャップがあるからこそ力強い進歩も期待できると考えました。今後、この人材像を具現化するためには、有識者を交えた育成のためのカリキュラム開発、ロールモデルの開発・探索はもとより「パブリックリレー ションズ・プロフェッショナル」の認知・理解を、広く社会に、深く主要なステークスホルダーに対して求めることが必須であると思っております。会員の皆さまをはじめ、パブリックリレーションズに関わる皆さまのご協力とご支援をお願い申し上げます。

なお、新中期経営計画の詳細につきましては、今後皆さまにご説明する機会を設けさせていただきたいと思っております。加えて、今後の協会活動を通してご理解をいただく所存でおります。



## 「第10回通常総会」開催報告

第10回通常総会が、6月3日(木)、東京都港区六本木の公益財団法人国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」で開催されました。

コロナ下での開催となった昨年に引き続き、会場開催とオンラインによるライブ配信を予定していましたが、開始直前の機材トラブルが発生し、急遽ライブ配信を中止する事態となりました。オンライン視聴を予定されていた多くの正会員の皆さまに、多大なご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございませんでした。あってはならない事態を招いてしまったことを深くお詫びいたします。なお、当日録画の視聴のご案内は配信をお申込みいただいた方に別途ご案内申し上げます。

基準日となる令和3年3月末時点の議決権数は正会員365名で、当日出席者13名、議決権行使 書提出者239名、合計252名となり定足数の183名に達しており、総会は成立いたしました。 総会では、以下の2つの議案の審議と2つの報告が行われ、議案事項は全て承認されました。

#### 【議案審議】

第1号議案 令和2年度事業報告承認の件

第2号議案 今和2年度収支決算報告並びに監査報告承認の件

#### 【報告事項】

第1号報告 令和3年度事業計画について 第2号報告 令和3年度収支予算について

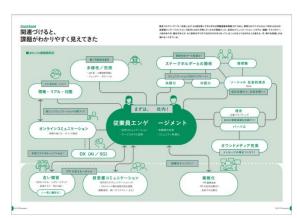
会員の皆様、関係者の皆様、またご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げますととも に、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。



## 『2021 PR Yearbook』発刊 巻頭特集のテーマは「今、むすび直す時」。 広報委員会

協会が年刊で発行している『2021 PR Yearbook』が 2021 年 6 月に刊行されました。PRSJ の活動報告に加え、パブリックリレーションズにおける大きな潮流を見据え、これからの方向について複眼的な視点で語る巻頭特集など、PRSJ の会員のみならず、PRやコミュニケーションに対して関心をもつ人たちに向けて興味深いメッセージを発信するメディアとなっています。

今年の巻頭特集のテーマは「今、むすび直す時」。世界的なパンデミックとなった COVID-19 以降、PRパーソンの意識や行動はどのように変わったのか、昨年秋に PRSJ 会員対象に実施した調査の中からフリーアンサーを抽出して分析いたしました。働く環境の変化から生まれた新たな機会と課題、ステークホルダーとの新たな関係作り、企業のパーパスについての本質的な問いかけなど、2020 年代のパブリックリレーションズにとって重要な視点が浮かび上がってきました。さらにいち早くこうした課題に取り組んでいる企業・



団体の現場を取材し、現場にとってヒントになる事例も紹介しております。 PRアワードグランプリ 2020 受賞エントリーの事例紹介と合わせて、多くのPRパーソンの参考になるはずです。

巻頭特集も含めた『2021 PR Yearbook』の主な内容は以下の通り;

#### 巻頭特集 「今、むすび直す時」

- ・会員緊急調査から見えてくるコロナ禍でのPRパーソンの意識の大きな変化
- ・フリーアンサーを関係づけると、課題がわかりやすく見えてきた
- ・人と人、人と自然の関係をつくり直す時が、今、来ている 東京工業大学教授 中野民夫氏
- ・もう形だけでは済まない。社会課題に対する本気度が問われている (株)電通パブリックリレーションズ 大川陽子氏
- ・これからの課題解決への8つのヒント ~How We Act~
- PRアワードグランプリ 2020
- 受賞事例紹介

2020年度日本PR大賞

2020 年度 ~PRSJ 活動報告 等

『2021 PR Yearbook』は、PRSJの正会員、個人会員には一冊ずつ配布される他、希望する方には 1000円(税込)で販売しているので、ご関心のある方は PRSJ 事務局までお問い合わせください。

## PRプランナー資格認定制度/検定試験

## 第30回1次試験6月1日から受付中

-試験期間は、8月14日(土)~8月29日(日)まで-

資格委員会

第 30 回 1 次試験は、PC を使用して、8 月 14 日(土)~8 月 29 日(日)まで実施されます。本 1 次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 12,618 名が受験し、9,476 名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いに存じます。

- ●全国 280 カ所のテストセンターに設置された PC を使って受験していただきます。
- ●16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- ●受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy (ネットバンキング) からお選びください。(手数料は無料です)
- ●今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

#### 【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】

# STEP1<br/>受験種別の確認STEP2<br/>画像データ用意STEP3<br/>仮申込みSTEP4<br/>ユーザー登録STEP5<br/>本申込みSTEP6<br/>試験当日STEP7<br/>合否発表

#### PRプランナー資格認定制度/検定制度 第30回1次試験 実施概要】

	• •	> 1 H FO		2 1547-15122
試	験	期	間	2021年8月14日(土)~8月29日(日)
			1	2021年6月1日(火)~7月30日(金)
仮	申 込	み期	間	※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなりま
				す。(本申込に必要な受験コードを取得)
				2021年6月1日(火)~8月6日(金)
本	申込	み期	間	※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込み
				となります。(受験日時・会場選択、受験料のお支払い)
				こなりより。(文談日時、云物選択、文談科のの文仏い)
合	否	発	表	2021年9月15日(水)正午
試験出題数/試験時間		11年 12日	50 問/80 分	
H- 0 /5	火山起发	义/ 武際	时间	30 回入 00 辺
合	映 山 越 st  格	<b>基</b>	準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー 資格制度 Web サイトでご確認くださいますよう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト: https://pr-shikaku.prsj.or.jp/



## 会員限定

## 第36回広報ゼミ開催報告

## 経営に資する広報セクションの在り方と広報部長の役割 〜広報におけるチームづくりを考察する〜

企業部会

2021年3月26日(金)16:00からZOOM配信を活用した第36回広報ゼミが開催されました。新企画として「最強広報組織のつくりかた」を掲げ、複数回にわたり、広報担当者や経営幹部の視点から所属する組織が求める広報組織の在り方、個々人のキャリア開発などを会員の皆さまと共に考えてまいる第一弾として、住友商事様、寺田倉庫様、京王電鉄様から、それぞれキャリアパスの異なる広報部長お三方に登場いただき、標記テーマを考察するために各社の広報体制、経営との関係性(組織、トップとの関わり方)、人財の育成方針等について、ご紹介いただきました。

今回は年度末の開催となり参加者が集められるか心配しましたが、60名の参加をいただきました。

### PRSJ in Media

#### ● 6月1日(火) 『月刊広報会議』(宣伝会議) 7月号

『月刊広報会議』6月号における当協会の連載コラムで、当協会が3月4日に開催した「PR アワード受賞事例公開セミナー」の開催について記事掲載されました。

コラムでは、まず本セミナーがコロナ禍のため初めてオンライン開催されたことに触れられています。続いて、主催者挨拶の後、第1部では2つのグランプリ、3つのシルバー受賞エントリーの講演が行われたこと、また第2部のトークセッションではモデレーターの投げかけに応じPRアワードグランプリの審査でみられたPRの潮流、応募の傾向などについて2人の審査員からそれぞれ考えが示されたことなどが紹介されています。

#### ● 5月24日(月) 『新聞之新聞』(新聞之新聞社)

『新聞之新聞』5月24日号において、当協会が実施し結果を公表した「PR業実態調査」について記事掲載されました。

記事では、PR業の最新潮流を明らかにするとともに、PR業の市場規模を把握するという本調査の目的、対象企業の概要が紹介されています。さらに、2020年度における売上高の推計をはじめとして、業績見通し、景況感、取扱い業務、ニーズが増える業務、新型コロナウィルスの影響など、調査に基づく結果の概要について解説されています。

#### ● 5月24日(月) 『週刊企業と広告(東京)』(チャネル)

『企業と広告』5月24日号において、当協会が実施し結果を公表した「PR業実態調査」について紹介されました。

記事では、まず 2020 年度における PR業全体の売上高が 2018 年度に比べ大幅に減少したことをはじめ、本調査の目的、売上の推計方法、売上の伸びが目立つ業務や今後ニーズが増えると予想される業務について触れられています。

[記事協力:株式会社内外切抜通信社]

## 編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。 中身の濃い会員誌に育てていきたいとおもいますので、 よろしくお願い致します。

広報員会

E メール <u>mail@prsj.or.jp</u> F A X 03-5413-2147

※ 禁転載